

施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 3 - (1)

政策体系	施策名	県民スポーツの推進	所管部局名	教育庁	長期総合計画頁	155
	政策名	スポーツの振興	関係部局名	教育庁、企画振興部、福祉保健部		

【 . 主な取り組み】

取組			
取組項目	生涯にわたって スポーツに親しむ機運の醸成	県民スポーツを支える環境づくりの推進	スポーツ指導者の養成・確保と 関係機関等との連携強化

【 . 目標指標】

指 標	関連する 取組	基準値		29年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)		H25	40.5	46.9	48.5	103.4%	50.0	56.0						
総合型地域スポーツクラブの会員数(万人)		H26	1.6	1.74	1.70	97.7%	1.8	2.0						

【 . 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
達成	総合型地域スポーツクラブ(以下、「総合型クラブ」という。)の活動が地域に根付き、地域住民のスポーツ参加機会が増えたことや、高齢者層を中心に健康・体力づくりへの関心が高まったこと等により、目標値を達成した。	達成
概ね達成	新たに2つの総合型クラブが設立されたことや、総合型クラブの地域への定着、活動範囲の拡大、活動内容の充実などにより、目標値を概ね達成した。	

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型クラブが実施したチャレンジウォーキングとクラブフェスティバルに3,493人が参加した。 ・みんなで延ばそう健康寿命推進月間を中心に、市町村や各団体による運動イベントが開催され、スポーツに親しむ機運が高まってきた。(H29:307イベント) ・県内各地で障がい者スポーツの体験会、子どもふれあい交流会等を88回実施し、普及啓発を図った。
	<ul style="list-style-type: none"> ・武道競技をはじめとして多目的に活用できる県立武道スポーツセンターの建設工事を進めた。 ・県立学校において、体育施設の新築及び改修工事(新築1校、改修4校)を実施した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・貯筋運動サポーター養成講習会を鹿屋体育大学と連携して実施し、39総合型クラブから117人が参加した。(H28:36クラブから94人) ・プロスポーツチームによる学校や地域イベント等への訪問事業を56回実施し、スポーツに親しむ機会の創出を図った。(参加者:4,019人)

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	地域スポーツ活性化推進事業	6,312	A	継続・見直し	270
	みんなで進める健康づくり事業	49,277	B	継続・見直し	57
	障がい者スポーツ選手育成・強化支援事業	14,513	A	終了	84
	スポーツ交流地域活力創出事業	25,667	A	継続・見直し	30

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>大分県スポーツ推進審議会 (H30.3)</p> <p>・総合型クラブと学校部活動との関わりを今後どのように進めていくか検討してほしい。</p>	
---	--

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・県民が身近な地域で日常的にスポーツに親しむことができるよう、総合型クラブおおいネットワークと連携し、総合型クラブの育成・支援を推進する。 ・鹿屋体育大学と連携した「貯筋運動プログラム」の普及やチャレンジウォーキング、クラブフェスティバルの開催など、総合型クラブと連携してスポーツへの参加機会の充実を図る。 ・総合型クラブと学校部活動との一層の連携強化を図り、児童・生徒のスポーツ活動の受け皿づくりを更に進めていく。 ・ラグビーワールドカップのホスピタリティ施設等としても活用できるよう、H31年4月完成に向け、県立武道スポーツセンターの建設を推進するとともに閉館に向けた取組を推進する。 ・屋内運動場など学校体育施設の環境改善や安全対策を進め、県民のスポーツ環境の充実を図る。